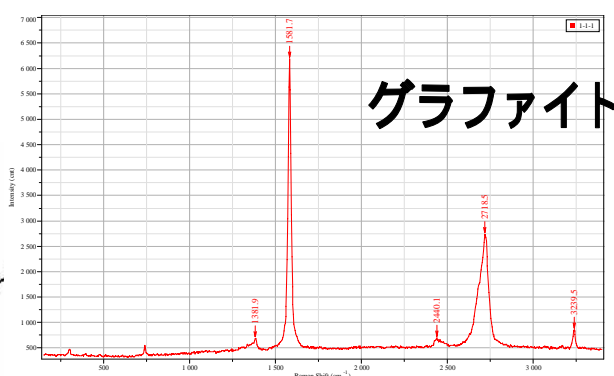
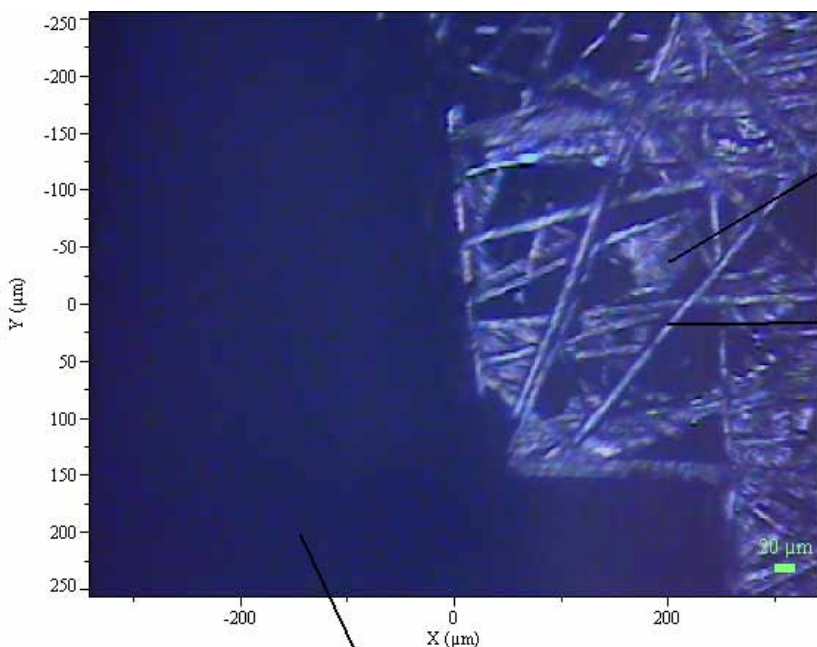


燃料電池 電極上カーボンの 形態の違いによるスペクトルの変化

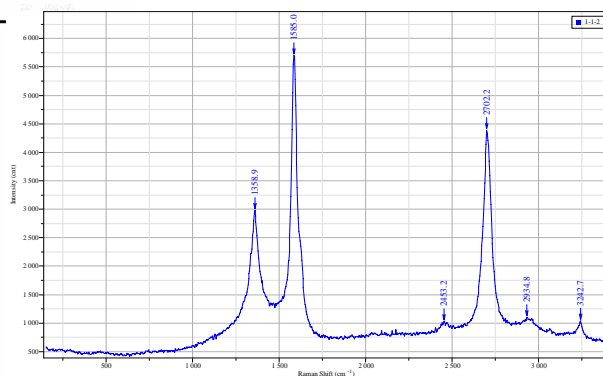
カーボンは、共鳴ラマン効果によって強いラマン散乱を示します。
ラマン分光法は、燃料電池に使用される電極上、および、ポリマー上のカーボンの劣化状態のモニターなどの評価の研究に使われています。

Key Word :燃料電池、カーボン、電極、劣化

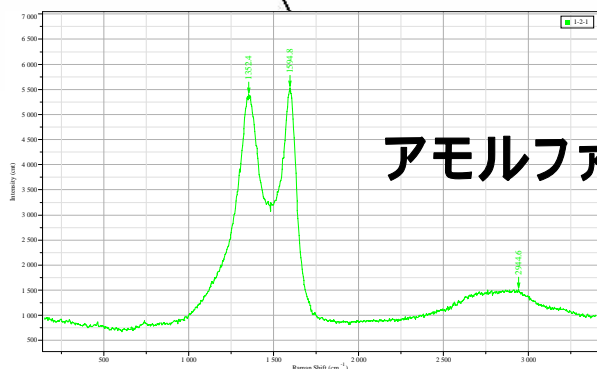


グラファイト

金属光沢のある粒子



繊維状物質



アモルファス

黒色部位

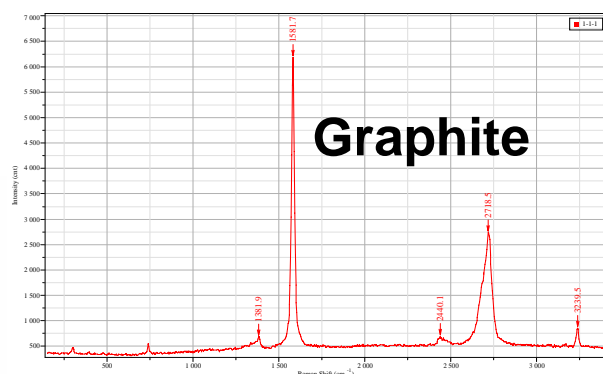
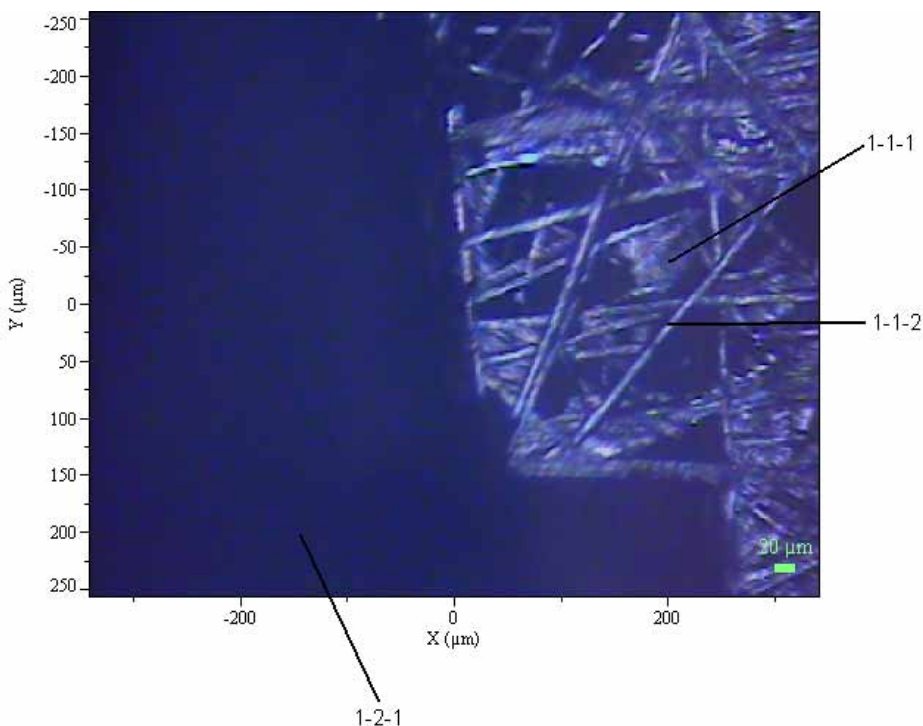
試料ご提供: 東京工業大学
炭素環境エネルギー研究センター
津島将司 先生

この資料に記載されている内容は改良のため、予告なく変更することがあります。

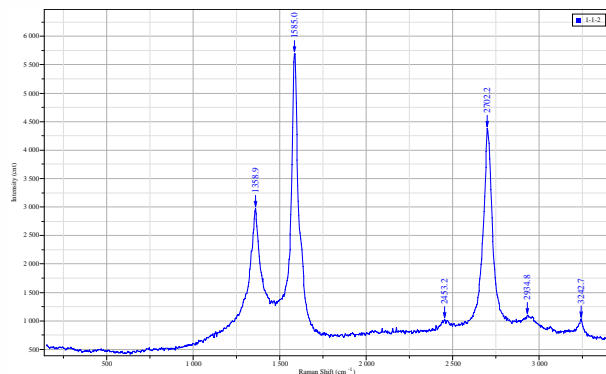
The change of the spectrum induced by the state of carbon on Fuel Cell and a pole

Carbon has strong Raman scattering with the resonance effect.. Raman spectroscopy is used for research on the degradation of carbon on a pole or a polymer substrate in fuel cells.

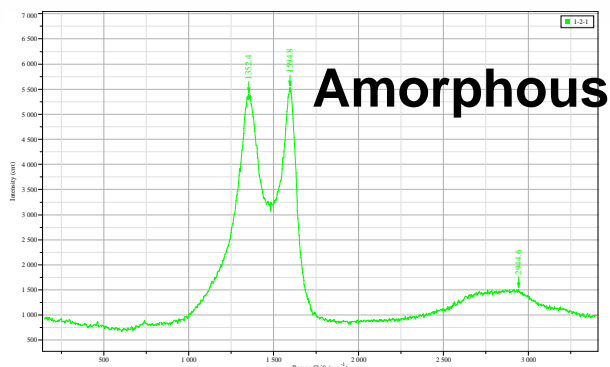
Key Word :fuel cell, carbon, pole, degradation



The particle having metallic luster(1-1-1)



The Fibriform material(1-1-2)



The black part(1-2-1)

The data was presented by courtesy of Dr. Shohji Tsushima, Research Center for Carbon Recycling and Energy, Tokyo Institute of Technology.

この資料に記載されている内容は改良のため、予告なく変更することがあります。